

# サプライチェーンマネジメント

## 基本的な考え方

購買部門は企業の社会的責任を果たすため、お取引先であるサプライヤーとの相互理解、法令・社会規範の遵守を積極的に推進しています。さらに、サプライヤーから供給された優れた資材をよりよい製品づくりに活かし、お客様に提供しています。

## 調達の基本方針

オープン	日本国内だけでなく、広く海外の企業に対しても門戸を開き、優れた製品を有し、良好なサービスを得られる企業との取引を求めています。また常に新しい企業との購買取引を心掛けています。
公正	取引先の選定は、製品の品質・性能・価格・納期の確実性、アフターサービス体制、および経営状態などを総合的に判断し公正に選定します。
相互信頼	公正な取引を通じて、取引先の皆様との相互理解と信頼を深め、相互利益のために信頼関係を築き上げていくよう努めています。
法令の遵守	弊社との購買取引にあたって、弊社と取引先の皆様の双方が、国際社会の関連法規ならびにその精神を遵守すべきであると考えます。
社会への貢献	弊社と取引先の皆様が購買取引を通じて、ともに社会に貢献する良きパートナーとなるべきであると考えます。
環境保全 (グリーン調達)	環境保全に積極的に取り組む取引先の皆様との購買取引を通じて、地球環境の保全に努めるべきであると考えます。

## 調達推進体制

### ●推進体制図



毎月開催する経営会議において、生産本部の概況報告のなかで、調達状況についても報告しています。また、2021年3月期の取り組み方針を以下のとおり報告しました。

1. 国内外への安定した部品供給体制の確立、数値モニタリングの実施、製品の安定配送の実現
2. ミウラグリーンシフト(有害化学物質ゼロ宣言)に向けた部品調達、生産取り組みの推進

## 調達におけるBCPの取り組み

災害に強いサプライチェーンを構築するため、調達におけるBCP(事業継続計画)として以下の取り組みを毎年実施し、平時から準備しています。

- 調達業者のBCP策定状況の確認
- 調達業者リストの変更確認
- 対象機種部品の安全在庫の見直し
- 調達先のリスク評価と安全在庫の見直し
- 調達先の代替先の検討
- 汎用品サプライヤーのデータリストおよび各種部品表のデータ整備

### 災害時の在庫管理、部品、薬品の確保

過去の災害経験から、被災時の必要部品を選定、安全数量を確保しています。本社機能の復旧までの最大1ヵ月間、全国の拠点間で部品や部品、薬品の融通ができるよう備えています。

特に、消耗品として大量に必要な水処理製品については、安定供給できるように分散在庫の強化など、在庫の確保を図っています。



三浦アクアテックの薬品倉庫

## サプライヤーと一体になった品質向上に向けた取り組み

ミウラグループは、四位一体改革を推進し、高品質・低コスト・短納期を実現する生産体制の構築を目指しています。四位一体改革は、生産本部

を中心に、設計・グループ製造会社・資材調達および協力会社の4部門との協働により成り立っています。

### ●品質向上に向けて

#### 四位一体の品質向上活動

#### M-QMS (Miura Quality Management System)の構築

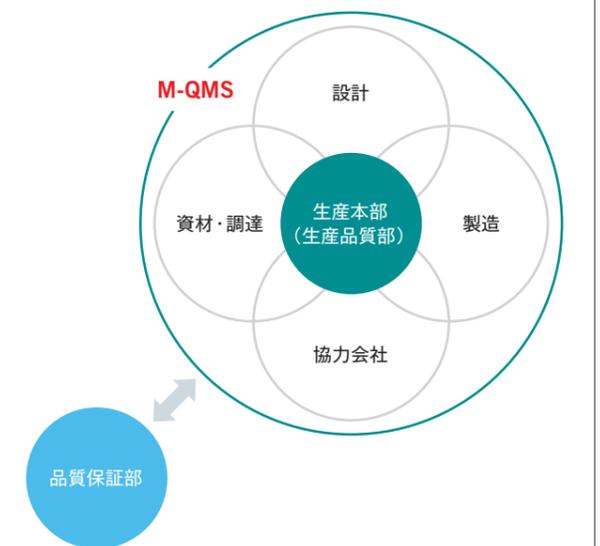
スローガン

使う立場で、ものづくり

#### 理念の共有

<b>Quality</b> 品質	<b>Cost</b> コスト	<b>Delivery</b> 納期	<b>Flexibility</b> 適応性
----------------------	--------------------	-----------------------	---------------------------

- 国内外問わず品質が最も大切
- トータルコストダウン(全体最適)
- グローバル調達
- 「競争」と「共存」



2009年3月期より、「TS(トップサプライヤー)優良製造会社認定制度」を開始しました。現在は、TS8社と四位一体改革の理念を共有しWIN-WINの関係のもと、QCDF<sup>\*1</sup>を追求しながら、長年にわたる相互信頼関係を構築しています。

下記2つの取り組みのほか、TS8社および重要な機能部品サプライヤーに対しては、毎年、生産品質部が品質監査を実施しています。

\*1 QCDF: Quality(品質)、Cost(コスト)、Delivery(納期)、Flexibility(適応性)

### 経営者会議

当社社長執行役員をはじめとした経営層とTS8社の経営者が参加し、年1回開催しています。品質向上・納期対応・コストダウンの各社の目標、実績、自主点検結果を開示して、評価報告と意見交換を実施しています。

## CSR調達におけるサプライヤーとの協働

取引基本契約書に、環境保全に関する条項として、「廃棄物削減、省資源、省エネ、リサイクルを推進し、地球環境に与える負荷の軽減に努める」旨を定めています。また、購買管理規程にて、サプライヤーからの金品受領や社会通念の範囲を超える接待を受けることを禁止しており、サプライヤーには書面で当社の方針を周知しています。

グリーン調達の取り組みとしては、2017年10月に「ミウラグループグリーン調達ガイドライン」を制定。有害物質の調査を開始し、自社のボイラ薬品は、ガイドラインに記載された有害化学物質の非含有について保証できる体制を整えています。全サプライヤーに周知するとともに、主要サプライヤーに対しては説明会を実施しています。